



な ら 6 月

令和 5 年 5 月 3 1 日
横浜市立奈良小学校

HP : <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/nara>

生涯にわたって運動やスポーツに親しむ態度

副校長 税田 栄一

今年も校舎のピロティの梁にツバメが戻ってきました。昨年は天敵の鳥に襲われたのか、何日も巣を壊されながらも、あきらめず健気に巣作りを行うその姿に感動を覚えたことを思い出しました。今年も無事に巣立ちの時期を迎えられるよう、見守っていきたいと思います。

さて、5月には新体力テストが行われました。今年度は3年間コロナ禍で実施することができなかった「20mシャトルラン」「上体起こし」も含め、すべての種目を実施することができました。1・6年、2・5年はペアで各種目を回り、高学年が低学年の測定の手伝いをします。高学年が低学年の児童の手を優しく引く姿やペアの友達を熱心に応援する姿が見られました。

昨年度の体力テストの結果を見てみると、ほとんどの種目で全国平均や横浜市の平均と同等かそれ以上の数値が出ていますが、「ソフトボール投げ」については、すべての学年で全国平均を下回っています。この原因の一つとして、投げるための基礎となる運動の経験が少ないことが考えられます。今後も体育の学習を中心に教育活動全般を通して、投げる運動をはじめ基本的な動きや技能を身に付けることができるよう意識して取り組んでいきます。また、運動を通して子ども同士が互いのよさを認めたり、助け合ったりする経験を積み重ねてほしいと思います。

横浜市教育委員会が2018年（平成30年）に策定した「横浜教育ビジョン2030」では、子ども達に身に付けてほしい力の一つとして

【体】 健やかな体

- 自ら健康を保持増進しようとする態度
- 体力づくりを通じ、心身ともにたくましく生きる力
- 生涯にわたって運動やスポーツに親しむ態度

を掲げています。その中で「生涯にわたって運動やスポーツを『する、みる、支える、知る』の多様な関わり方で親しむ態度を育みます。」という目標があります。

3月の「ワールド・ベースボール・クラシック(WBC)」での日本代表の活躍は記憶に新しいところですが、今年は「FIFA 女子ワールドカップ」や「ラグビーワールドカップ」などのスポーツイベントが開催されます。自分自身が体を動かすことを楽しむのはもちろんですが、運動やスポーツには多様な関わり方があるということもこの機会に子ども達に伝えていければと思います。

今月も本校の教育活動に対してのご支援、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。